

エピローグ

今回の展示では、当館の所在する南河内郡と、そこに隣接する富田林市の石川流域を取り上げ、それぞれの市町村でもあまり知られていない遺跡を「地域に眠る遺跡」として紹介しました。

今回取り上げた地域には、河南町に全国でもきわめて稀な、双円形をした金山古墳、太子町には、推古天皇陵や聖徳太子墓などの王陵とされる古墳が含まれる、磯長谷古墳群、千早赤阪村の、楠木正成にまつわる鎌倉時代から南北朝時代にかけての城跡、富田林市に、今なお面影を残す、富田林寺内町など、よく知られた遺跡も数多くみられます。

しかし、遺跡たちは、皆さんの住んでいる町内、いつも通る道、買い物に出かける商店街、そして、休日を過ごす公園など皆さんのすぐ近くにも眠っています。

今回の展示をとおして、皆さんが地域に眠る遺跡たちに興味を持ち、歴史や文化とのつながりを少しでも感じていただくきっかけになれば、これ以上の喜びはありません。

このたびは、音声ガイドのご利用、ありがとうございました。

担当は、四国めたんでした。またのご来館を、こころよりお待ちしております。